

〔シリーズ特集〕

明日からすぐ実践できる!

患者の安全・QOLを守る エキスパートの

5つの極意

VAP予防編

入院患者のQOLを著しく低下させかねないことの中には、
看護師の介入によって未然に防げるものがあります。
それらに関して、エキスパートが考えている「特に大切な“極意”」を5つに絞って示します。



〔執筆〕新井祐介 あらい・ゆうすけ

社会医療法人財団 池友会 新小文字病院
ICU師長／特定行為責任者／クリティカルケア認定看護師

2002年社会医療法人財団 池友会 小文字病院(現：新小文字病院)ICUに就職。2014年同院ICU師長、集中ケア認定看護師認定。2019年特定行為研修(1区分2行為)を修了し、クリティカルケア認定看護師認定。2022年に同研修の5区分12行為、2023年に2区分3行為を修了。2024年院内特定行為責任者となり、ICLS・ICLSWSインストラクターを取得。

私が考える
「VAP予防
“5つの極意”」

CONTENTS

- P.69 一 手指衛生
- P.70 二 適切な鎮静・鎮痛と
人工呼吸器からの早期離脱
- P.73 三 ヘッドアップ(30～45度)
- P.74 四 口腔ケアの徹底
- P.77 五 適切なカフ圧管理

